

【様式1】

概要書

<p>研究名</p>	<p>コンピュータ紋処理システムのクラウドサービス化に係る研究</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>有限会社 織創</p>
<p>研究の概要</p>	<p>有限会社織創が開発・販売されているシステムは、KYB 株式会社製システムを引継ぐ形で、保守・販売が継続されているもので、現在も「業界標準」としての地位を保ち続けている。</p> <p>このような状況下にあつて昨今、Windows OS の日々の Update に係る不具合の発生や、他社システムを運用しておられるお客様からの、紋データ作成処理に係るサービスの問い合わせや依頼が増えている。</p> <p>つまり、デザインである紋図は、Photoshop 等の汎用描画ソフトウェアや、他社の紋図処理システムを使って作成し、紋織物製造へのデータ処理を織創システムで行いたい旨の要望である。</p> <p>本研究の目的は、織創の有する紋データ作成のノウハウを現在のハイパフォーマンス通信を活用して実現できないかどうかのトライアルである。また、処理毎払いの料金制や、新たなサービス課金制であるサブスクリプションでのビジネス展開ができないかどうかの検討を行う取り組みである。</p> <p>このため、クライアント上で動作している現行プログラムを WEB 経由などの手法でサーバーサイドでのプログラムで動作させ処理を行わせ、その結果をユーザに戻すシステムへのトライアルである。</p>